

## 日本鉄鋼協会記事

**第4回理事会** 日時：6月9日(火)午後4・30。場所：協会会議室。出席者：塩沢会長ほか19名。  
報告事項：Ⅰ. 編集委員会の件。Ⅱ. 企画委員会の件。Ⅲ. 秋季大会に関する件。Ⅳ. オースチン博士講演会の件

Ⅴ. 鉄鋼便覧改編委員会の件。  
協議事項：Ⅰ. 常務委員等委嘱並びに解嘱一浅田謙氏の常務委員を解き、小野田武夫、平世将一両氏に常務委員を委嘱のこと、伊藤博氏の企画委員を解き、久芳正義、野村純一両氏に企画委員を委嘱のこと、西村吉太郎氏の鉄鋼標準試料委員兼幹事を解くことを決定。Ⅱ. 特別資金運営委員委嘱の件一石原善雄、伊木常世、○入一、川崎勉、作井誠太、○芝崎邦夫、田畑新太郎、武田喜三、俵信次、長谷川正義、松本豊、山岡武、吉崎鴻造、○吉田道一(○印兼幹事)の各氏に委員を委嘱することを決定。Ⅲ. 東海支部規則一部改正の件一承認、但し静岡県在任会員の取扱について同支部に照会のこと。Ⅳ. 北海道支部に補助金交付の件一承認。Ⅴ. 北陸支部に講演会資金交付の件一承認。Ⅵ. 石炭利用技術会議に関する件一準備委員に武田理事を推薦することに決定。Ⅶ. 5月中収支決算の件一承認。Ⅷ. 5月中入退会その他会員異動の件一承認。

**第4回編集委員会** 日時：6月24日(水)午前9・00。場所：富士製鉄箱根寮。出席者：作井理事ほか15名。

報告事項：Ⅰ. 6月号会誌完成および7月号会誌完成予定の件。  
協議事項：Ⅰ. 8月号原稿選定の件一選定済み。Ⅱ. 技術資料に関する件一新たに依頼すべき技術資料の題目および執筆者について協議決定。Ⅲ. 抄録並びに国内国外刊行雑誌目次に関する件一改善方につき協議。Ⅳ. 真空冶金シンポジウムに関する件一鉄共研真空冶金分科会の記事を10月号会誌に掲載のことに決定。Ⅴ. アブストラクトNo. 8口絵選定の件一次回決定のこと。Ⅵ. 秋季講演大会前刷原稿校閲並びにプログラム編成の件一完了。

**第3回企画委員会** 日時：6月16日(火)午後4・30。場所：協会々議室。出席者：伊木理事ほか9名。

報告事項：Ⅰ. Hammarlund 博士講演会の件 Ⅱ. 鉄鋼技術講座の件。  
協議事項：Ⅰ. 俵博士記念事業の件。Ⅱ. 最近に実施すべき講習会、講演会等について。

**関西支部講演会** 5月23日午前9時40分から京都大学工学部冶金学教室において、八幡製鉄渡辺記念資金による講演会を実施し、つぎの講演を行った。

- (1) Mg 処理鑄鉄の黒鉛球状化におよぼす Pb, Sb, および Bi の影響。  
京大工学部 森田志郎・○尾崎良平・井ノ山直哉・倉井和彦
- (2) ダクタイルロール材の硬度および強度におよぼす C, Si, Mn の影響(幻)  
久保田鉄工 米田健三・山下 章・○黒田秀郎・青木雅美
- (3) 連続鉄造における一次冷却について(幻) 住友金属製鋼所 明田義男・佐々木寛太郎・○牛島清人
- (4) Fe-C-Si 合金に現われる炭化物について(幻) 阪大産研 奥村俊郎

**中国四支部特別講演会** 6月1日午前10時より広島市基町郵政会館において開催された。当日の講演つぎの通り。

- (1) 鋼中非金属介在物について 日本鋼管川崎製鉄所 堀川 一 男氏
- (2) 特殊鋼の趨勢と将来について 日立金属工業安来工場 小 柴 定 雄氏
- (3) 最近の海外の諸情勢について 八幡製鉄光製鉄所 太 宰 三 郎氏

**北陸支部特別講演会** 6月19日午後1時から高岡市中川富山県工業試験場講堂において、八幡製鉄渡辺記念資金による特別講演会を開催、つぎの通り講演が行われ、終つて映写会が開かれた。

- 講演 (1) 日本製鉄業とその現状 富山大学 森 棟 隆 弘氏
- (2) 連続鑄造について 同 室 町 繁 雄氏
- (3) 人間社会における金属文化の今昔と将来 同 養 田 実氏
- 映 写 (1) 精密工業の不二越 不二越鋼材工業(株) 提供
- (2) 製鉄と造船 日本鋼管(株) 同

**北海道支部春季講演会** 6月22, 23の両日、日本金属学会と共催の下に、富士製鉄室蘭製鉄所において開催、つぎの諸講演が行われた。(○印講演者)

- 第1日 (1) 高炉の富酸素送風試験について 富士鉄 田山 昭
- (2) 大量酸素使用操業について 富士鉄 前田正義・山本全作・○荒金煉
- (3) ファイアライトのX線の研究 北大工 吉井周雄・渡辺勝也
- (4) 鑄鉄の強度に対する超音波探傷法の応用例 道工試 ○金森祥一・矢崎 洋
- (特別講演) 米国鉄鋼技術雑感 富士鉄本社 梅根英二
- (5) 真空鑄込が大型鋼塊のマクロ偏析におよぼす影響(幻) 日鋼 近藤八三・池見恒夫・○小野寺真作
- (6) 構造用特殊鋼の熱膨脹率におよぼす熱処理の影響と炭化物の変化について(幻) 日鋼 徳田 昭
- (7) 0.5~1.2%, C-1%, Cr-0.4%, Mo 鋼の焼鈍について(幻) 日鋼 渡辺十郎・○熊田有宏
- (8) 15°25'~15°45' ファイアクラックの研究(Ⅱ)(幻) 日鋼 渡辺十郎
- 第2日 (9) 炭素飽和熔鉄とアルミナとの反応について 北大理 丹羽貴知蔵・杉沢喜三郎・山井 巖○新明正弘
- (10) 可鍛鑄鉄の切欠脆性 日立製作所 奥本正臣
- (11) 最近の室蘭鑄物鉄について 富士鉄 堀 清次
- (12) 大型焼入ロールの硬度分布について(残留応力と端の影響) 日鋼 ○荒木田豊・柴崎鶴雄・堀 清
- (13) キャップド鋼について 富士鉄 池田 保・都築誠毅・津田精三・○赤沢正久
- (見学) 日本石油精製株式会社室蘭製油所